

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 22 日

事務事業名		桜川市PR事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	新規	事務事業No.	050301000948
総合計画の施策名		0503 観光の振興				単独/補助	単独	所属課	010101
政策名		05 魅力と活力のある産業社会づくり				主要事業	対象外		秘書広報課
施策名		03 観光の振興				市長マニフェスト	対象外		
基本事業名		01 観光PRの強化・充実				未来PJ事業	対象外	グループ	秘書広報グループ長
						合併建設計画事業	対象外		
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	04	01	00	単年度繰返し (平成28年度~)		
法令根拠	さくらがわ応援大使設置要綱					広報広聴事業			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像) ・市長が、他自治体等に桜川市の特産品をPRのために持参する特産品を用意する。 ・市の魅力を広く全国に発信し、市の知名度向上及びイメージアップを図る。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・PR用の特産品の用意する。 ・さくらがわ応援大使設置要綱の策定し、さくらがわ応援大使の候補者の選定を行う。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移								
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
・PR用の特産品の用意する。 ・県人会の会場で、特産品をPRする。 ・さくらがわ応援大使設置要綱の策定し、さくらがわ応援大使の候補者の選定を行う。	PRする特産品の数	品	17.00	17.00	20.00	20.00	20.00	
	さくらがわ応援大使候補者数	人	0.00	11.00	11.00	5.00	5.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
・県民及び首都圏の人々 ・さくらがわ応援大使	首都圏の人口	千人	42,793.00	42,500.00	42,000.00	41,500.00	41,000.00	
	さくらがわ応援大使委嘱者数	人	0.00	0.00	5.00	5.00	5.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
・桜川市の特産品を多くの人に知ってもらい、購入してもらう。 ・大使に市のPR活動を行ってもらう。	茨城県人会参加回数	回	0.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
	特産品のPR回数	回	14.00	18.00	20.00	20.00	20.00	
	PR活動依頼回数	人	0.00	0.00	5.00	5.00	5.00	

(3) 投入量(事業費)の推移		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定 総投入量	
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	255	344	254	308	308
	事業費計(A)	千円	255	344	254	308	308	
人件費	正規職員従事人数	人	0.00人	2.00人	2.00人	2.00人		
	述べ業務時間	時間	0.00	84.00	100.00	100.00	100.00	
	人件費計(B)	千円	0	244	290	290	296	
トータルコスト(A)+(B)		千円	255	588	544	598	604	

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)		
	11 需用費	344		11 需用費	254	
		合計	344		合計	254

(4) 当該年度の実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	桜川市PR事業	事務事業No.	50301000948	所属課	秘書広報課
-------	---------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

- ・平成28年度より、茨城県人会時の特産品のPRや市長が他の自治体に訪問する際に特産品のPRをするために始まった。平成29年度より県人会時の特産品のPRは商工観光課で実施することになった。
- ・市の魅力を広く全国に発信し、市の知名度向上及びイメージアップを図るため、平成28年12月1日に「さくらがわ応援大使設置要綱」を策定した。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

特になし。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	・市の特産品をPRするための事業なので、魅力と活力ある産業づくりに結びついています。 ・大使に、市の魅力を広く全国にPRしてもらうことで、市の知名度向上及びイメージアップに繋がります。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	・桜川市の特産品PRのために、公費を支出してPRすることは妥当です。 ・大使に、市のPRをしてもらうために必要です。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	・特産品の数が限られており向上の余地はありません。 ・平成28年に要綱を策定し、委嘱は、平成29年度に行うため、現段階では向上の余地はありません。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市の特産品のPRができなくなります。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	桜川市の特産品をPRする事業であるため、観光関係の事業と連携ができる。 大使については、観光大使を新たに設置することで、PR大使として連携できると思われる。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	・自治体等を訪問した際の特産品のPRなので、削減の余地はありません。 ・大使には、PRのための名刺とPR品の支給のみなので、削減の余地はありません。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	・桜川市のPRするための事業なので、公平・公正です。
公平性			

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	本年度は、茨城県人会へ2回参加し特産品のPRを行った。また、市長が他の自治体を訪問した際に市の特産品をPRすることができました。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上			○																						
	維持			×																						
	低下			×																						
茨城県人会でのPRは、会場にブースを設け、PRすることから観光PRも兼ねて商工観光課で次年度より予算計上することとなった。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>